入隊 伝授 出撃 決戦 終幕

注意点1 理論

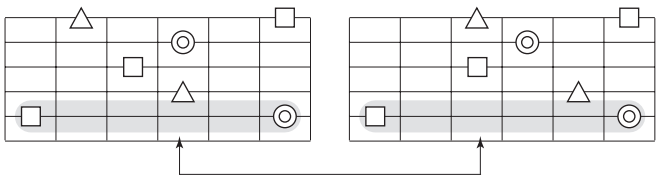
5弦上に5th音を加えたアレキシ風ポジション

このメイン・フレーズは、アレキシが使用する特殊なスウィープ・ポジションになっている。通常の5本弦スウィープでは、5弦はルート音のみになるが、この“アレキシ風ポジション”ではさらに5th音も加えている（**図1**）。基本的にスウィープ・フレーズはコード進行に合わせたプレイになるので、最低音をルート音にすることが多い。しかし、アレキシは最低音に5th音を加えることで、オーソドックスなスウィープ・プレイにはない独特な響きを生み出しているのだ。ストレッチを含むやや特殊なフィンガリングになるので、練習することで左手の押弦力を養うことができるだろう。また、使いこなせるようになれば、スウィープのフレージングの幅をさらに広げられるぞ！

図1　アレキシ風5本弦スウィープ・ポジション

◎ルート音　△3rd音　□5th音

・マイナー（メイン・フレーズ1小節目）　・メジャー（メイン・フレーズ3小節目）

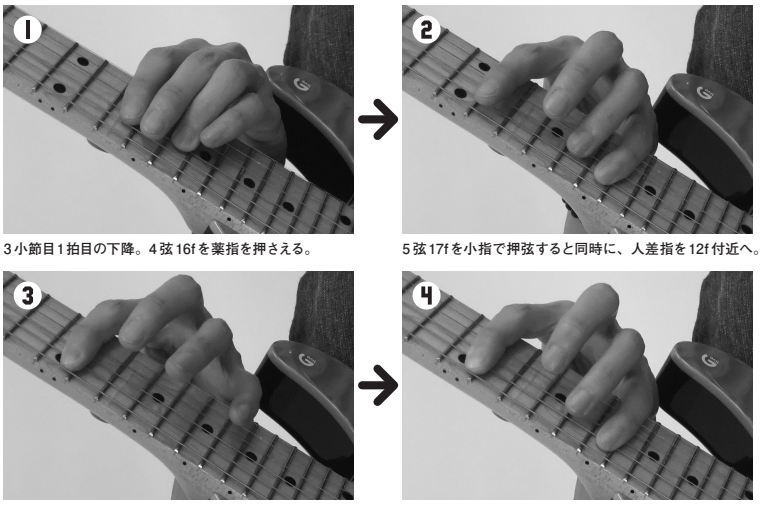


5弦上にルート音と5th音を置くのがポイント。

注意点2 左手

指をしっかり開いて5弦の押弦を的確に行なおう

このメイン・フレーズでは5弦上にルート音と5th音を配置するため、5弦でのプレイはストレッチ・フォームになる。特に3小節目の17フレット（小指）と12フレット（人差指）には注意が必要だ（**写真**①～④）。3小節目1拍目は下降フレーズになるので、ロック・フォームからクラシック・フォームに徐々に切り替えていき、5弦に移動した時には手の甲を前に出すような感覚で、手首を返して指をしっかり開いてみてほしい。**左手親指【註】**をネックの下側に少し移動すると、さらにストレッチしやすくなるはずだ。また、1弦17フレットを小指で押弦すると同時に、人差指を12フレット上で待機させておくと、フレーズをスムーズに繋げることができるだろう。



3小節目1拍目の下降。4弦16fを薬指を押さえる。

5弦17fを小指で押弦すると同時に、人差指を12f付近へ。

人差指の押弦時にも小指を17f付近で待機させると……

続く小指による17fの押弦をスムーズにできる。

~コラム23~

教官の戯れ言

ギター・キッズが憧れる超絶ギター・ヒーローは、テクニカルであることはもちろんのこと、カリスマ性が不可欠だ。21世紀以降も新しいギタリストが登場してきたが、アレキシはそんな新世代ギタリストの中でも抜群のカリスマ性を持っている。チルドレン・オブ・ボドムではギター＆ボーカルを務めているが、彼の歌いながら超絶プレイを披露するスタイルは、90年代以前の超絶系ギタリストたちにはあまり見られるものではなかった。このメイン・フレーズで使用しているアレキシ・ポジションをはじめ、彼の新しい感性やスタイルは学ぶべきところが多いのだ。

著者・小林信一、かく語りき アレキシ・ライホ編

チルドレン・オブ・ボドム
『ヘイト・クルー・デスロール』

ブルータルなサウンドと叙情的なメロディが融合し、アレキシのスリリングな超絶プレイも多数収められている4thアルバム。

チルドレン・オブ・ボドム
『ブラッドドランク』

4thアルバムの方向性を継承しつつ、よりストレートなサウンドを提示した6枚目。強力なアンサンブルによる激重音が満載だ。

【左手親指】 ストレッチでは親指の向きも重要になる。親指の先端がヘッド方向に向くと指が開きづらくなるので注意しよう。また親指は側面を使って、ネック裏を押さえるようにすると良い。